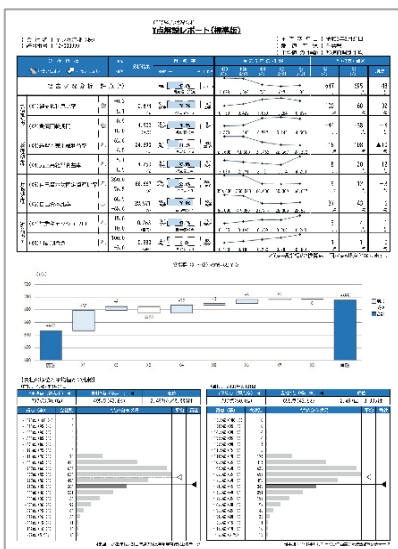


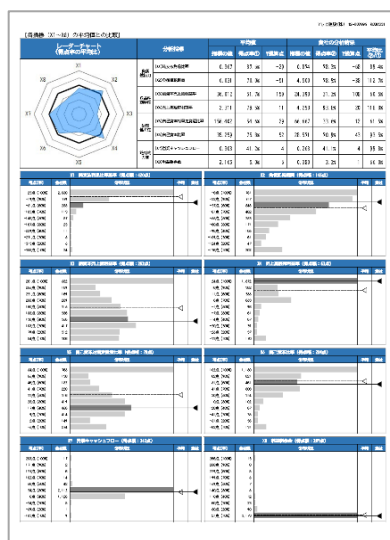
CIIC経営状況分析Y点解説レポート(標準版)の解説

「CIIC経営状況分析Y点解説レポート」は、貴社の経営状況の評点（Y）の分析指標毎の増減や順位をチャートで分かりやすくまとめた3枚のレポートです。Y点アップや経営目標の参考資料として、是非ご活用ください。

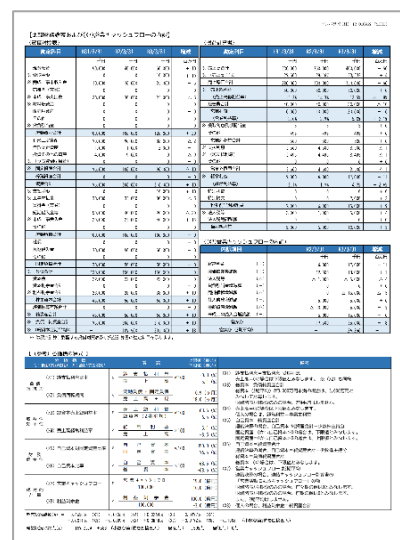
(1枚目)



(2枚目)



(3枚目)



■ 掲載情報

(1枚目) 主にY点に関する情報

- ・ Y点およびX1～X8の値、得点率、過去5年の推移（スパークライン表示）
- ・ 前期および当期X1～X8のY換算点（Y点に換算すると何点分か）と増減
- ・ ウォーターフォールチャート（Y換算点の増減）
- ・ 前期および当期のY平均点と母集団における順位とヒストグラム

(2枚目) 主にX1～X8に関する情報

- ・ X1～X8の平均点および自社との比較（レーダーチャート）
- ・ X1～X8の母集団における平均点と自社得点（ヒストグラム）

(3枚目) 比較財務諸表

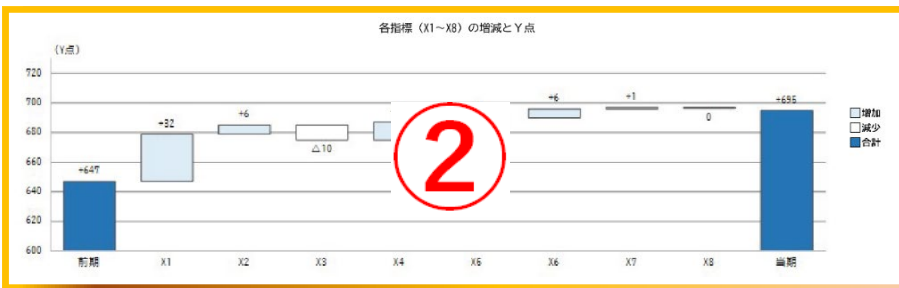
- ・ Y点算出の基データとなった3期比較財務諸表
- ・ X7営業キャッシュフローの内訳
- ・ （参考）各指標の算式

▼1枚目

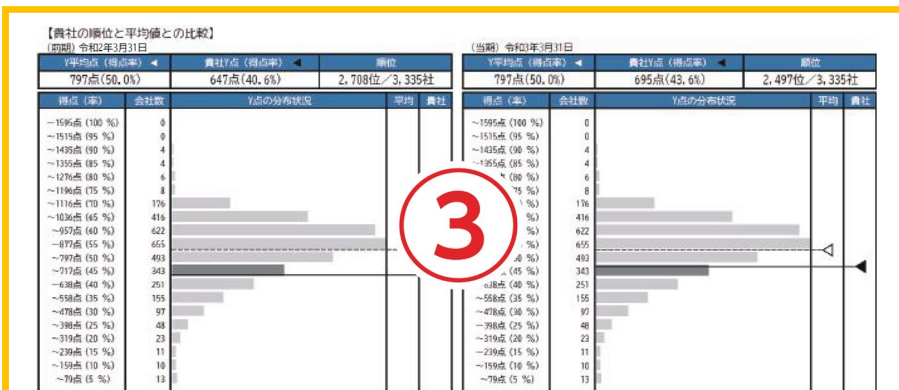
分析指標	上期値 下期値	分析結果	得点率	過去5年の推移					Y(換算)点※			
				H29 3/31	H30 3/31	H31 3/31	R2 3/31	R3 3/31	R2 3/31	R3 3/31	増減	
経営状況分析 評点(Y)			43.6%	1,595点	1,028	1,000	725	647	695	647	695	+48
(X1)純支払利息比率	-0.3	0.874	78.3%	0.150	0.427	1.059	1.284	0.874	-100	-68	+32	
	5.1											
(X2)負債回転期間	0.9	4,500	78.9%	1,773	1,543	4,727	5,143	4,500	-44	-38	+6	
	18.0											
(X3)総資本売上総利益率	63.6	24,390	33.6%	30	2,571	2,121	1,714	4,250	9	12	+3	
	6.5											
(X4)売上高経常利益率	5.1	4,250	70.9%	50,000	47,059	25,714	25,000	28,571	37	43	+6	
	-8.5											
(X5)自己資本対固定資産比率	350.0	66,667	33.6%	0.155	0.180	0.203	0.200	0.263	3	4	+1	
	-76.5											
(X6)自己資本比率	68.5	28,571	70.9%	0.130	0.180	0.230	0.280	0.380	1	1	0	
	-68.6											
(X7)営業キャッシュフロー	15.0	0.263	41.1%									
	-10.0											
(X8)利益剰余金	100.0	0.380	3.3%									
	-3.0											

①X1～X8の指標毎に左から、**得点率**※1、過去5期分の推移、**Y換算点**※2を表示しています。

- ※1 最高点(満点)に対する得点割合を表しています。
- ※2 Y点に換算すると何点になるのかを表しています。



②前期と当期のY点の増減の内訳を、X1～X8の指標毎にウォーターフォールチャートで表示しています。
どの指標の影響が大きかったのか、視覚的にとらえることができます。



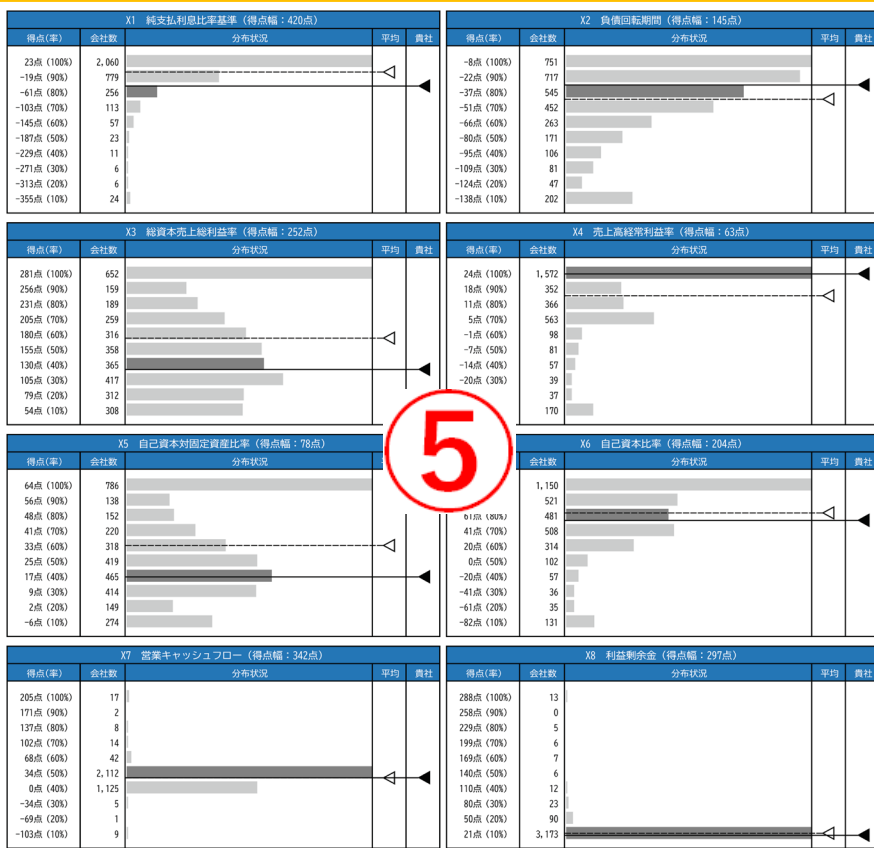
③Y点の分布と貴社の順位をヒストグラムで表示しています。
母集団内における自社の立ち位置がわかります。

▼2枚目

【各指標（X1～X8）の平均値との比較】



④各指標の平均値と貴社の数値をレーダーチャートで表示しています。
平均値と比較して良い指標と悪い指標が確認できます。



⑤指標毎にY換算点(得点率)の分布と貴社の順位をヒストグラムで表示しています。
自社の得点率が100%に近い指標は、Y点アップの余地は少ないですが、
得点率が低い指標を改善すると、Y点アップが期待できます。

▼3枚目

【比較財務諸表および(X7)営業キャッシュフローの内訳】
(貸借対照表)

勘定科目	H31/3/31		R2/3/31		R3/3/31		増減		勘定科目	H31/3/31		R2/3/31		R3/3/31		増減
	千円	千円	千円	千円	千円	千円				千円	千円	千円	千円	千円	千円	
現金預金	50,000	40,000	50,000				+10	※ 売上高合計	330,000	350,000	400,000				+50	
※ 受取手形	0	0	10,000				+10	※ (売上高+12)	27,500	29,167	33,333				+4	
※ 完成工事未収入金	30,000	30,000	35,000				+5	売上債権合計	280,000	300,000	350,000				+50	
売掛金(営業)	0	0	0				+0	※ 売上総利益	50,000	50,000	50,000				+0	
※ 未成工事支出金	20,000	30,000	25,000				△5	(売上高総利益率)	15.2%	14.3%	12.5%				△1.8%	
※ 材料貯蔵品	0	0	0				+0	販管費合計	40,000	40,000	30,000				△10	
販売用資産	0	0	0				+0	営業利益	10,000	10,000	20,000				+10	
その他	0	0	0				+0	(営業利益率)	3.0%	2.9%	5.0%				+2.1%	
※ 貸倒引当金	0	0	0				+0	※ 受取利息及び配当金	5	5	5				-0	
流動資産合計	100,000	100,000	120,000				+20	その他	495	495	495				-0	
有形固定資産	70,000	90,000	88,000				△2	営業外収益合計	500	500	500				-0	
無形固定資産	1,000	1,000	2,000				+1	※ 支払利息	3,500	4,500	3,500				△1	
投資その他の資産	4,000	9,000	0				-5	(注1)	3,495	4,495	3,495				△1	
※ (うち貸倒引当金)	0	0	0				-0		0	0	0				-0	
※ 固定資産合計	75,000	100,000	90,000				-15	合計	3,500	4,500	3,500				△1	
繰延資産合計	0	0	0				-0	※ 当期中間利益	7,000	6,000	15,000				+9	
資産合計	175,000	200,000	210,000				+15	※ 法人税等	2,000	1,000	5,000				+4	
※ 支払手形	0	0	10,000				+10	法人税等調整額	0	0	0				-0	
※ 工事未払金	30,000	35,000	30,000				-5	当期純利益	5,000	5,000	10,000				+5	
買掛金(営業)	0	0	0				+0								-0	
短期借入金等	50,000	40,000	20,000				△30								-10	
※ 未成工事受入金	20,000	25,000	40,000				+20								+10	
その他	0	0	0				+0								-0	
流動負債合計	100,000	100,000	100,000				-0								-0	
社債	0	0	0				+0								-0	
長期借入金	30,000	50,000	50,000				+20								+10	
その他	0	0	0				+0								-0	
固定負債合計	30,000	50,000	50,000				+20								+10	
※ 負債合計	130,000	150,000	150,000				+20								+11	
資本	22,000	22,000	22,000				+0								+4	
※ 資本剰余金合計	0	0	0				+0								-0	
※ 利益剰余金合計	23,000	28,000	38,000				+15								+15	
株主資本合計	45,000	50,000	60,000				+15								+10	
評価換算差額合計	0	0	0				+0								+15	
※ 純資産合計	45,000	50,000	60,000				+15								+10	
※ 負債+純資産合計	175,000	200,000	210,000				+15								+18	
※ (総資本(2期平均))	-	187,500	205,000				+18								-	

6

⑥3期分の比較財務諸表です。各指標の変動要因等を勘定科目レベルに落とし込んで原因を分析することができます。

【(参考) 各指標の算式】

分析指標	算式	上図値(高い)	下図値(低い)	備考
(X1) 純支払利息比率	$\frac{\text{純支払利息}}{\text{売上高}} \times 100$	-0.3 (%)	5.1 (%)	(X1) 純支払利息=支払利息-受取利息 売上高=0の場合は下限値とみなします。 ※ (X2) も同様
(X2) 負債回転期間	$\frac{\text{流動負債} + \text{固定負債}}{\text{売上高} \div 12}$	0.9 (ヶ月)	18.0 (ヶ月)	(X2) 総資本=負債純資産合計 総資本(2期平均)が3,000万円未満の場合は、3,000万円とみなして計算します。
(X3) 総資本売上総利益率	$\frac{\text{売上総利益}}{\text{総資本(2期平均)}}$			(X3) 財務諸表が1期分のみの場合、2期平均はしません。 売上高=0の場合は下限値とみなします。
(X4) 売上高経常利益率	$\frac{\text{経常利益}}{\text{売上高}}$			個人の場合は、経常利益=事業主利益 自己資本=純資産合計
(X5) 自己資本対固定資産比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{固定資産}}$			連結決算の場合、自己資本=純資産合計-少数株主持分 総資本=0の場合は、下限値とみなします。
(X6) 自己資本比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$	68.5 (%)	-68.6 (%)	(X6) 自己資本=純資産合計 連結決算の場合、自己資本=純資産合計-少数株主持分 総資本=負債純資産合計 総資本=0の場合は、下限値とみなします。
(X7) 営業キャッシュフロー	$\frac{\text{営業キャッシュフロー}}{100,000}$	15.0 (億円)	-10.0 (億円)	(X7) 営業キャッシュフローは2期平均 連結決算の場合、連結キャッシュフロー-計算書の「営業活動によるキャッシュフロー」の額 財務諸表が2期分のみの場合、前々期の額は0とみなします。
(X8) 利益剰余金	$\frac{\text{利益剰余金}}{100,000}$	100.0 (億円)	-3.0 (億円)	(X8) 個人の場合、利益剰余金=純資産合計 また、2期平均はしません。

経営状況点数(A) = $-0.4650 \times (X1) - 0.0508 \times (X2) + 0.0264 \times (X3) + 0.0277 \times (X4) + 0.0011 \times (X5) + 0.0699 \times (X6) + 0.0818 \times (X7) + 0.0172 \times (X8) + 0.1906$ (小数点第3位を四捨五入)
経営状況の点数(Y) = $167.3 \times A + 583$ (小数点第1位を四捨五入) 最高点: 1.595点 最低点: 0点

7

⑦参考として、各指標の算式を掲載しています。

Q1

「得点率」はどのように計算していますか？

「指標の値」「上限値」「下限値」を用いて計算します。得点率を用いることにより、当該指標に関する評価を容易に行うことができるようになります。

【得点率の算式】

$$X1 \cdot X2 \text{得点率} = \{1 - (\text{指標の値} - \text{下限値}) / \text{指標の幅}\} \times 100$$

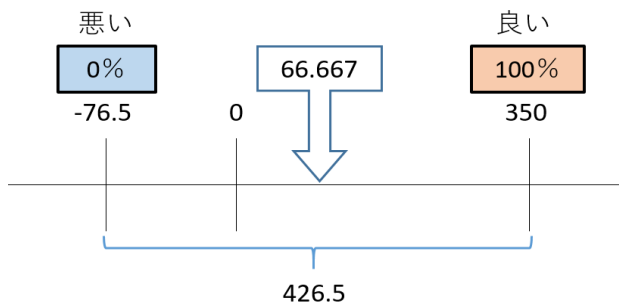
$$X3 \sim X8 \text{得点率} = (\text{指標の値} - \text{下限値}) / \text{指標の幅} \times 100$$

※なお、X1およびX2は低い方がよい指標のため逆数を得点率としています。

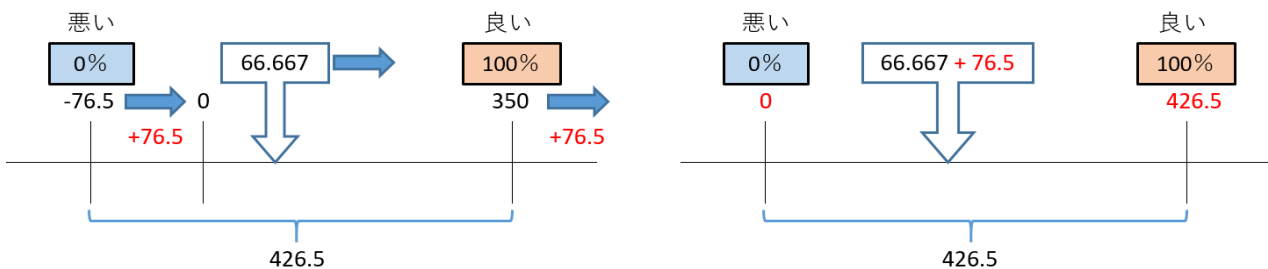
※下記の事例（X5の値 = 66.667%）を用いて説明します。

(X5)自己資本対固定資産比率	350.0	66.667 (%)	-76.5 -14点	33.6%	350.0 64点
	-76.5				

・X5の指標の値（66.667）と上下限値の関係を図示すると以下となります。



・下限値が-76.5とマイナスのため、下限値 = 0となるよう各項目を補正します。



・補正後の値を用いて得点率を計算します。

$$(66.667 + 76.5) / 426.5 = 33.567 \dots \Rightarrow 33.6\%$$

Q2

「Y換算点」はどのように計算していますか？

例えば、前期Y点 = 750点、当期Y点が785点だったとします。この事例ではY点が35点増加していますが、この情報だけでは「なぜ35点増加したのか」といった疑問に答えることができません。また、785点のうち、どの指標でどの程度得点を取っているのか（マイナスされているのか）が分かりません。

「Y点 = X1～X8のY換算点 + 固定点615点」と把握することで、その増減の要因や得点内訳をX1～X8に分類することができるようになります。

「Y換算点」は、Y点の算出式を変形して算出します。

Y点の算出式は以下のとおりです。

$$\begin{aligned} \text{経営状況点数(A)} = & -0.4650 \times (X1) - 0.0508 \times (X2) + 0.0264 \times (X3) + 0.0277 \times (X4) \\ & + 0.0011 \times (X5) + 0.0089 \times (X6) + 0.0818 \times (X7) + 0.0172 \times (X8) + 0.1906 \end{aligned}$$

(小数点第3位を四捨五入)

$$\text{経営状況の評点(Y)} = 167.3 \times A + 583 \quad (\text{小数点第1位を四捨五入}) \quad \text{最高点: 1.595点} \quad \text{最低点: 0点}$$

- ・ 上式を下式に代入します。

$$Y = 167.3 \{ -0.4650 \times (X1) - 0.0508 \times (X2) + 0.0264 \times (X3) + 0.0277 \times (X4) + 0.0011 \times (X5) + 0.0089 \times (X6) + 0.0818 \times (X7) + 0.0172 \times (X8) + 0.1906 \} + 583$$

- ・ 上記の算式の一部を展開します。(167.3を中括弧内の各項目に乗ずる)

$$Y = 167.3 \times -0.4650 \times (X1) + 167.3 \times -0.0508 \times (X2) + 167.3 \times 0.0264 \times (X3) + 167.3 \times 0.0277 \times (X4) + 167.3 \times 0.0011 \times (X5) + 167.3 \times 0.0089 \times (X6) + 167.3 \times 0.0818 \times (X7) + 167.3 \times 0.0172 \times (X8) + 167.3 \times 0.1906 + 583$$

$$= \underline{-77.7945 \times (X1)} - \underline{8.49884 \times (X2)} + \underline{4.41672 \times (X3)} \cdots + \underline{614.88738}$$

Y換算点 (X1) Y換算点 (X2) Y換算点 (X3) … 固定点

- ・ 上記により【Y点(※) = X1～X8のY換算点 + 固定点】が得られます。

※ 上記の変形式によりY点を算出した場合、小数点未満の端数処理について実際の端数処理とは異なることになるため多少の誤差が生じるようになります。

※ YレポートではY換算点を四捨五入しています。

Q3

Yレポートの1ページ目の「得点率」データバーの「上下限值に対応する得点」と「得点幅」はどのように算出していますか？

- ・「上下限值に対応する得点」は、それぞれ、「指標の値が上限値だった場合のY換算点（最高点）」と「指標の値が下限値だった場合のY換算点（最低点）」です。算出方法についてはQ2のとおりです。
- ・得点幅は両者の幅であり、一覧およびグラフ表示すると以下のとおりです。

	指標	最低点	最高点	得点幅
負債 抵抗力	X1 純支払利息比率	-397	23	420
	X2 負債回転期間	-153	-8	145
収益性 効率性	X3 総資本売上総利益率	29	281	252
	X4 売上高経常利益率	-39	24	63
財務 健全性	X5 自己資本対固定資産比率	-14	64	78
	X6 自己資本比率	-102	102	204
絶対的 力量	X7 営業キャッシュフロー	-137	205	342
	X8 利益剰余金	-9	288	297

Q4

Yレポート1ページ目下段のヒストグラムに表示している母集団データはどのようなデータを用いていますか？また、更新のタイミングはいつですか？

- ・母集団データは経営事項審査結果の公表データを用いています。公表データの詳細については、財団ホームページの「経審結果の公表」メニューの中に「公表について」 「Q&A」がありますのでこちらをご覧ください。
- ・Yレポートで使用する母集団データは、毎月1回更新されます。

Q5

表示される順位や平均値について母集団データはどのようなデータを用いて算出していますか？

- ・Yレポート（標準版）は、所在の都道府県ごとに順位や平均値の算出をしております。
- ※マイページで作成できるYレポート（カスタマイズ版、シミュレーション版）では、平均値と順位を知りたい母集団を全国の他、都道府県別、市区町村別、売上高規模別で選択（各項目内で複数選択も可能）することができます。